

土壌の分析と対策

ぶらっしょり、しまったな！ 土壌汚染

ガソリンスタンド・自家給油
施設跡地や油槽所跡地でこ
のような悩みは、ございま
せんでしょうか？ 弊社がお応
えいたします。

◆ 浄化以外の対策として、敷地外への拡散防止や土壌の入れ換えなどのご要望にもお応えします。

お問い合わせ先

トキコシステムソリューションズ株式会社

本社 〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビル
TEL.050-3852-5280 FAX.044-222-7155

<https://www.tokicosys.com/>

弊社は
ISO 9001：2000の品質マネジメントシステム登録、
ISO 14001の環境マネジメントシステム登録しています。

●製品改良のため予告なしに仕様変更する場合がありますのでご了承ください。
●このカタログに記載している製品は、写真及び印刷の具合により、色合いが異なる場合がありますのでご了承ください。

土壤汚染対策法の改正で注目される原位置浄化（ガソリンスタンド・自家給油施設跡地や油槽所跡地等対応可能）

油で汚れてしまった土壤の調査から浄化（対策）まで、一貫したサービスをご提供。

汚染土壤の場外搬出による汚染拡散を抑制するため、2010年4月から土壤汚染対策法の改正にて厳しく規制されるようになりました。これにより、場外搬出を行わず、その場で浄化する「原位置浄化技術」が注目されています。掘削・除去による対策に比べて費用を抑えることができ、建造物直下でも施工ができる点など、多くのメリットが挙げられます。

こんなことはないですか??

改修工事・解体工事の際に油の臭いや油膜が確認された
漏洩検知管から油が確認された
など…

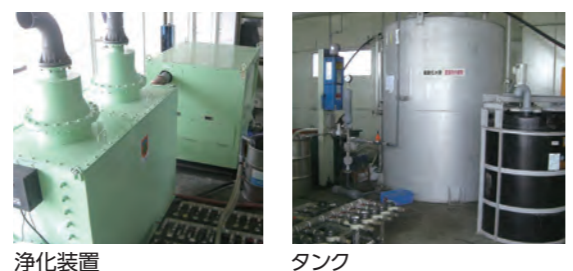
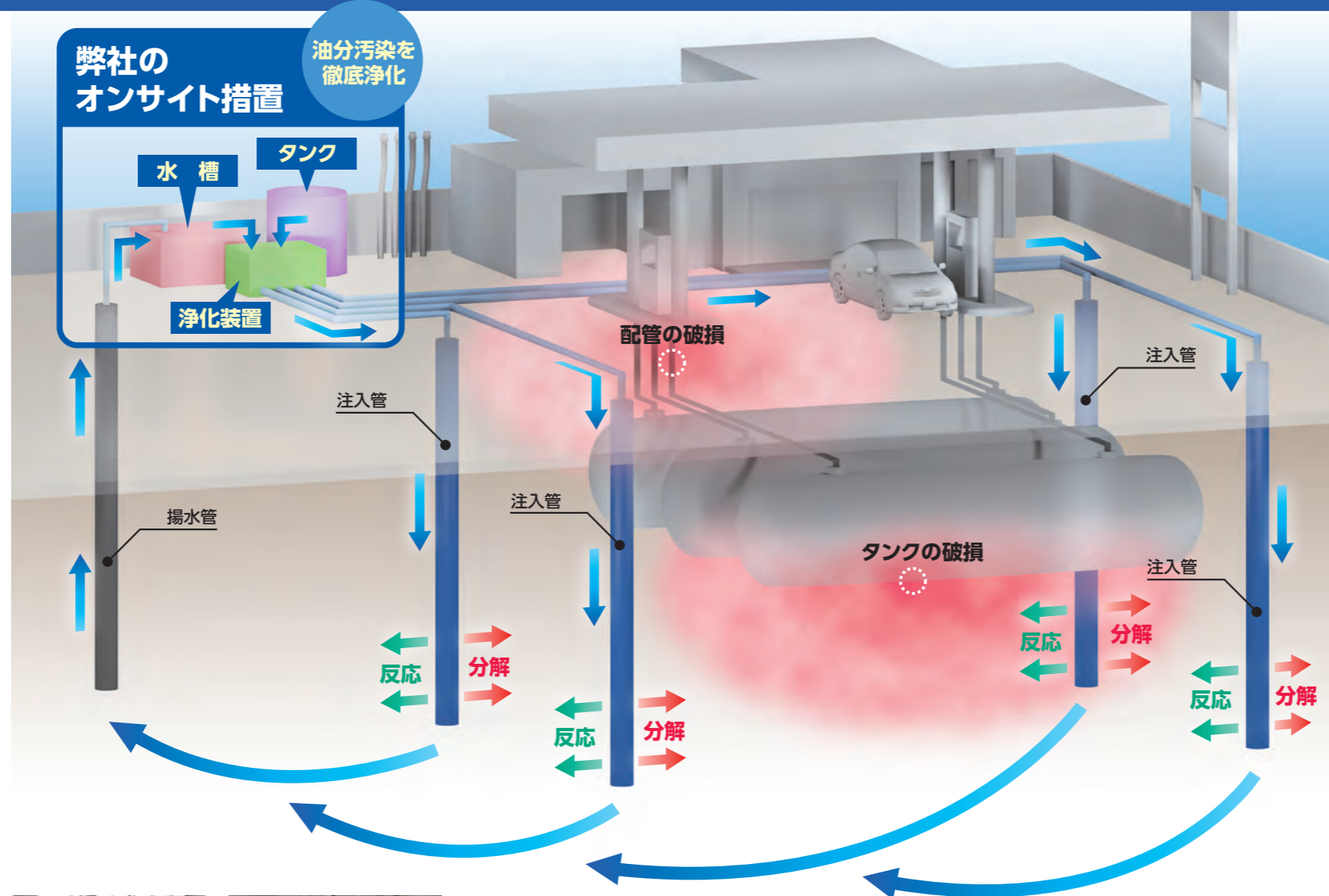
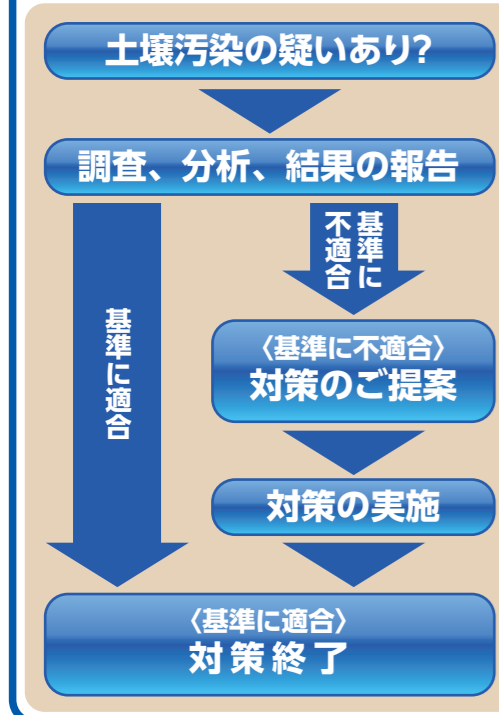
土壤汚染の疑いあり?と思ったら、土壤や地下水を分析し、土壤汚染の有無を確認します。

土壤汚染が確認されたら…

分析結果の報告・今後の対策について
自社分析による、迅速な対応・分析結果の報告・今後の対応についてご提案いたします。

土壤汚染対策の方法は多種多様です。お客様のニーズや状況に合わせて、土壤汚染対策のご提案をいたします。
その他、自主的な調査や法令・条例による調査の依頼にも対応いたします。

土壤汚染対策の流れ(一例)



掘削することなく、原位置で分解することが可能な
酸化分解工法と**バイオレメディエーション工法**
(化学反応) (分解作用)

酸化分解工法

酸化剤と反応促進剤を設置井戸から注入し、土壤中のベンゼンや油分の濃度を低減化させる。

これまでは、酸化剤による土壤環境への負荷が大きいことや設備が大型化していたため、狭い敷地においては導入が困難でした。

弊社では、「循環式の工法」を採用することで設備を小型化し、土壤環境への負荷を低減するとともに、数種の酸化剤を用いることで対策範囲の広域化を実現しました。

バイオレメディエーション工法

「有機物を分解する」という土壤微生物の能力を活用し、土壤中のベンゼンや油分の濃度を低減化させる。

これまでは、「嫌気性(酸素のない)環境」において実施すると、微生物の分解能力が低下し、浄化完了までに長期間を要していました。

弊社では、「嫌気性環境」でも微生物の分解能力が低下しないよう、定期的なモニタリングを行うことで、土壤浄化に適した環境を維持・管理し、汚染土壤の浄化期間を短縮しました。

コストや期間など、お客様のニーズに合わせた各種の工法をご提案いたします。

